

あまりも快勝でしたので、お二人からの原稿がまいりました。

2025年5月17日 甲子園 阪神・広島戦の応援観戦

(5 - 2で阪神勝利の模様)

2月阪神タイガースファンクラブ会員の西田さんがライト外野席のチケットを取って頂き、チケットは5月14日社友会例会で配付された。¥2200/枚。ライト外野席42段は観戦にはとてもよいところ。

今朝から強風と雨で試合開始が危惧されたものの午前中に雨は上がり、球場整備会社の阪神園芸が完璧なグラウンド整備で、最高気温は25°Cほどで快適な応援観戦日和だった。

葛野事務局長以下予約の猛虎会5人が着席。デイゲームで14時試合開始。

先発大竹7回2失点、石井がきっちり中継ぎ、最後は33才岩崎が前夜同点の9回2失点で負け投手だったが、100セーブを達成で勝利。大竹今季初勝利、1敗。打線は近本5安打1打点、大山2安打2打点、木浪1打点と活躍、佐藤の一発を期待した。2安打で活躍し5 = 2で勝利。

ライト外野席はトラキチのファンで埋め尽くされ選手個人毎の応援歌が賑やか。

リードしていて観戦しながらの生ビールは格別に堪能。

コロナ禍前まで風船飛ばしをしていたが今季も風船は解除されていない。

広島は先発床田以下 4 人の投手陣は阪神の打線に 11 安打を浴びたが対阪神戦 4 勝 4 敗。阪神は今季 39 試合 21 勝 16 敗 2 分け勝ち越し 6 で 2 位広島に 0.5 ゲーム差の首位キープ。今日の入場者数は 42,634 人で今季最高。

猛虎会の次回応援は 9 月の予定。

(今日の猛虎会参加者) 木村勤 久保田 葛野 西田 山口

以上は久保田さん筆

関西支部猛虎会 【5/17 (土) 阪神ー広島戦観戦レポート】

社友会関西支部において伝統のある猛虎会ですが、今期初の甲子園阪神戦を観戦したので、レポートします。昨年は巨人が今年には阪神が設立 90 年の記念の

年に当たっています。

1.日時：25年5月17日（土）14：00～16：38

2.場所：雨上がりの甲子園球場

3.天候・気温：午前中は強雨、午後薄曇り、最高気温 22.7℃

4.参加者：木村、久保田、西田、葛野、山口の5名（敬称略）

5.試合結果：5－2で阪神の勝利（勝利投手：大竹 1勝 1敗、負戦投手：床田 4勝 3敗）

6.観戦レポート

午前中 11 時ころまで強雨が降り、試合開始が危ぶまれたが、そこは阪神園芸のお手の物、試合開始時刻までにグラウンドの状態は完璧に仕上がっていた。私は新開地駅から乗車したが、阪神三宮駅から乗車されて隣同士となった妙齢女性に尋ねたところ、広島県福山市からとの返答。「カープ女子」と称されるほどの女性ファンの多い広島カープである。新幹線の新神戸駅下車なので阪神三宮駅乗車となるわけです。

広島に相性の良い大竹は春先の怪我で出遅れて今季甲子園初先発、相手は左のエース床田。既に4勝を挙げ、防御率も1.26の好成績。予想通りの投手戦となり4回表までは両チーム無得点。その裏阪神は佐藤輝の2塁打をきっかけ

に木浪が先制タイムリーを放った。

5回にも阪神は床田を攻め、床田の満塁での暴投と大山の2点2塁打で3点をもぎ取り有利に試合を進めた。8回表に大竹は相手の新外国人モンテロに2ランを浴びて降板するも、石井が後続を締めた。その裏、近本の1試合5安打目となるダメ押し点もあって、岩崎も昨夜のことは忘れたような快投をみせてゲームセット、5-2の快勝となった。

ヒーローは先制打の木浪、8回途中まで4安打2失点の大竹、5安打1打点2得点の近本、通算100セーブを達成した岩崎であろう。

大竹は4回~7回はパーフェクトに抑え、時には80キロ台のスローカーブが有効だった。近本は自身初となる1試合5安打、岩崎は球界8人目の100セーブ、100ホールドを達成した。岩崎はお立ち台で「昨日はすみませんでした」と頭を下げ、「早く仕返ししたかったので」と昨日決勝打を許した反省を言葉にしていた。早く取り戻したいのと一念が結果に繋がったのでは。

試合後勝利を祝って「六甲おろし」を歌い終わるまで席を立った人はいなかった。余韻が残り軽い興奮状態が続いた。この日は参加者それぞれに都合があり、近くで食事とはならず自宅へ向かい、勝利の余韻に浸った。



以上は 文責 山口 順